



ほれ今日の
きつけじゃ

グイツ
といけ



そんなに
警戒せんでも
半分はお前さんの
マンカスだわい

ここで
トんどかんと
後がキツイぞ？

ほれ



どーした
もつと奥まで
啜えんかい
喉からえずき汁
出さんとチンカス
溶けんど? ん?

そうだ
鼻で息すんだ
臭っさいの
脳みそに送れ



おーおー
えらく綺麗に
たいらげたな

相当好き物だわ
この助兵衛が



念誦の間
そのまま
魔羅棒様に
頭下げとれ

『奉納』

おーっ
うわっ
うわっ

熟成された恥垢は
酒気を帯び
部屋に充滿する
媚薬香と反応し
雌を狂わせる

肉棒を突き立て
られるだけで
膣は激しく収縮し
白濁した愛液が
溢れ出したが最後

その身体は
男根の猛りを
収めるためだけに
淫猥な汁を垂れ流す
穴と成り果てる



自らの身体が
作り変えられる
恐怖すら
快感の種となり

もはや
絶え間のない絶頂に
身体を震わせる
ことしか叶わない



おはっ
おはっ
おはっ





